

Let's challenge together!

2016年度 図書館学生サポーター募集

図書館では、図書館イベントの企画・運営に参加してくれる学生を募集しています。
この館報「としょかん」の企画・編集・取材や、年に2回開催する「ビブリオバトル」の企画・運営を一緒にしてみませんか？
初めてでも先輩たちが親切、丁寧にアドバイスします！
安心して参加してください。
図書館はあなたの力を求めています！



- 参加条件** 図書館の活動やイベントに興味があり、企画、原稿作成、写真撮影、動画編集、ポスター作成、イベントの司会・運営等に、年間を通して取り組んでいただける人。
※すべての活動に参加できなくても大丈夫です。あなたの得意な分野で図書館を盛り上げてください。
- 申込方法** 図書館1階カウンターまでお越しください。随時受付中！



編集後記

今回は最後の図書館報です。今回を含め、図書館報を通じて様々な経験ができました。楽しかったです。ありがとうございました。

経済学部卒業生 農口栄太

編集後記を読んでくださりありがとうございます。今回は「Café Break」さんの取材記事と「崩食と放食」の紹介を担当しました。私がサポーターになって今回で4回目の編集でしたが、相変わらず楽しく書かせていただきました。読みにくい点もあるかと思いますが、楽しく読んでいただけたら幸いです。

経済学部3年生 W.O

図書館報に携わるのは、今回で最後になります。ビブリオバトルの撮影や、図書紹介文の作成など、とても貴重な経験でした。新入生みなさん、図書館サポーターになって、有意義な学生生活を送りましょう！

情報社会学部卒業生 S.N

まさか図書館の仕事でキャラ弁を作るとは思いもしませんでした(笑)。製作を楽しんでしまいましたがもう作ることはない...と思います。それから、館報の表紙に携われたのはいい経験になりました。

経済学部3年生 足立実

図書館サポーターとして初めて図書館報のお仕事をさせていただきました。大変だったけど、楽しく取り組むことができました。次回からも頑張って取り組んでいきたいです！

経営学部2年生 立石奈々

自分の怠情にかまけて何もしなかった日々、後悔があとからじわじわと湧いてくる。真面目にやらなければと思い、取り組んだものの提出日ギリギリ。大学生だから許されるというわけでもない。意識することから、行動すること、結果を残すことに集中していくことにする。

経営学部2年生 満田翔太郎

普段何気なく食べていたハンバーガーにこんな話があるとは思いませんでした。皆さんにもぜひ、この本を読んでもらいたいです。

経済学部3年生 北村江里奈

私が紹介した本は、見ているとすごくお腹がすきました。レシピ本なので、文字の量も少なく楽しんで読むことができました。私も、この本の中から何か自分で作ってみたいと思いました。

経営学部2年生 加藤美遥

新入生みなさんご入学おめでとうございます！素敵な図書館ライフをお過ごしください。

経営学部卒業生 池田美咲

ドラマやマンガで作品それぞれの家庭料理の違いにも注目してみるという楽しみが増えました。

経営学部2年生 阿部絵美

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS LIBRARY

としょかん

特集 図書館で読める！

食を読む！

2016.4.1
大阪経済大学図書館報

93

経大生なら行ってみたい！

学生運営Cafè

Café Break
E-café×OUE

ザックリ解剖!!

図書館クイズ

先着20名に景品を

英語学習の新常識!

Extensive Reading!



知的書評合戦 ビブリオバトル

大阪経済大学図書館 2016年4月1日発行

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2丁目2-8
Tel.06-6328-2431 (代表) <http://www.osaka-ue.ac.jp/research/library/>



食を読む!

食事、食品、料理、食堂…、“食”とは、楽しみであり義務であり、一日に何度も接するものであり、私たちの体に影響を及ぼす重要なものでもあります。

今回、図書館学生サポーターが紹介するのは、“食”に関する本です。

“食”をキーワードに、社会、経済、科学、心理、歴史、民俗、貿易、調理、芸術、文学、エッセイetc…、

あなたはどの切り口から読みますか?

これを機会に、図書館のあちこちの棚に潜んでいる“食”の本、探してみませんか?

『昭和の洋食平成のカフェ飯：家庭料理の80年』

阿古真理 (著)

阿部絵美さん
紹介

「家庭料理」と聞いて、どのようなイメージを思い浮かべますか? おそらく一人ひとり違ったものを思い浮かべるのではないのでしょうか。この本では昭和初期から現在にかけての家庭料理の移り変わりを、その当時のマンガやドラマ、料理番組を通じて学ぶことができます。家庭料理だけでなく、その時代の文化についても知りたくなるような一冊です。



請求番号 383.8/Ako

『日本人はカレーライスがなぜ好きなのか』

井上宏生 (著)

農口栄太さん
紹介

「カレーの歴史」から、カレーの知識を深められる一冊です。「タマネギやジャガイモがカレーの具として使われるようになった理由」「日本軍隊のカレーレシピ」など、興味深い話題が満載です。読み進めていくうちに、「日本人はカレーライスがなぜ好きなのか?」と考えさせられる一冊です。



請求番号 383.8/Ino

『コンビニ食と脳科学：「おいしい」と感じる秘密』

加藤直美 (著)

満田翔太郎さん
紹介

私たちが普段何気なく利用するコンビニで、「あなたはなぜその商品を選んだのか」と聞かれても、明確な答えは出ない。コンビニ食と脳科学はどんな関係があるのだろうか。例えば、私がアルバイトをしているコンビニの常連さんの中に、必ずある特定の商品を買う少し年配のお客様がいる。その商品とはフライドチキン×8個で、毎週、揚げたてを購入される。理由を聞いてみると、ご本人ではなくお孫さんがよく好んで食べるという。油を大量に含んだ商品を頻繁に好んで食べることは、本書p.88の「油脂を摂ることによって幸せの感性が生まれる」に当てはまると考えられる。

他にもあなたが商品を購入した理由をこの本を読むことによって、知ることができるかもしれない。読んでみてはいかがでしょうか。



請求番号 498.5/Kat

『おいしいハンバーガーのこわい話』

エリック・シュローサー他 (著)

北本エ里奈さん
紹介

皆が一度は絶対に食べたことがあるファストフード。どのようにしてファストフードが誕生したのか。ファストフードの代表格であるハンバーガーには、実はこわい話がたくさんある。それは「肥満になること」だけではない。使用する材料により、環境に悪影響を及ぼしたこともある。この本を読んでファストフードの秘密を知ろう。



請求番号 498.5/Sch

『食べ物語るBUNDANレシピ』

BUNDAN COFFEE&BEER (著)

松本香織さん
紹介

『東京タワー』で(ボク)がオカンから貰ったおにぎり弁当、「吾輩は猫である」で先生が好んで舐めていた特製いちごジャム、「檸檬」の冷たい檸檬をモチーフにした檸檬パフェ……。日本近代文学館の一角にある文学カフェBUNDANのレシピが、モチーフとなった物語とともに掲載されています。読んだ本からレシピを選ぶもよし、レシピからこれら読む本を選ぶもよし。一冊で読書欲と食欲、どちらも満たしましょう!



請求番号 596/Bun

『英国一家、日本を食べる』

マイケル・ブース (著)

池田美咲さん
紹介

2015年にNHKでアニメ化された大人気エッセイ本。イギリス人フード・ライター、マイケルと妻リズン、息子のアスガーとエミル……4人の家族が日本料理を食べ尽くす! 焼きそば、お好み焼き、流し、うどん、ラーメンの美味しさ、日本酒・豆腐・味噌・納豆の作り方など……日本人も知らない日本の食の秘密が、魅力的に描かれています。



請求番号 383.8/Boo

『食堂かたつむり』

小川糸 (著)

S.Nさん
紹介

失恋をきっかけに全てを失った女性が、料理によって成長していく物語。1日1組しかお客様を招かない不思議な食堂「食堂かたつむり」。主人公、倫子の料理を食べた人には、なぜか幸せなことが起こる。人を幸せにすることができる彼女は、彼女自身を幸せにすることは出来るのだろうか。料理を前に、いただきますと言いたくなるお話。



請求番号 913.6/Oga

『食品表示の罠』

山中裕美 (著)

立石奈々さん
紹介

スーパーやコンビニなどで売られている食品には、品名や値段だけでなく、メーカー名、原材料、賞味期限といった様々な情報が記載され、これらの表示方法は法律や業界のルールにより細かく定められています。しかし私たち消費者にとって、食の安全を確保するための食品表示がわかりにくいものになっています。この本では、添加物や原材料などの食品表示の裏側に隠された本当の意味、問題点をズバツと指摘し、さらに食品業界の慣習などのトリビアも掲載されています。食品に対して少しでも疑問に感じたり、分からないことがあったりする人、一度読んでみてはいかがでしょうか?



請求番号 498.54/Yam

「一人ぶんから作れるラクうまごはん」 :これ以上簡単にできないレシピと 材料をムダにしないコツ」

瀬尾幸子(著)

加藤美遠さん
紹介

食いしん坊でものぐさなあなた、おひとり様のごはんでも、材料を無駄にせず、毎日おいしいものが食べたくありませんか?でも面倒なのはイヤですね。そこで編み出されたコツの集大成がこの本。誰でも「これなら作れる!」と思うレシピ集です。



請求番号/展示分

「崩食と放食」

:NHK日本人の食生活調査から
NHK放送文化研究所世論調査部(編)

W.Oさん
紹介

皆さんは毎日朝食を食べていますか?最近「若者の食生活が乱れている」と言われますが、果たしてそれは本当なのでしょう?この本ではNHK「日本人の食生活調査」のデータを元に、日本人の食を中立的かつ客観的に分析しています。章の合間にはコラムがあり、様々な目線で食の現状を見ることができます。読むとドキッとしてしまう、そんな情報が盛りだくさんの一冊です。



請求番号/498.5/Nih

まだまだある

食の本



食材の切り方便利帖

主婦と生活社編

請求番号/展示分



イラストでよくわかるきれいな食べ方

ミニマル+Blockbuster著

請求番号/展示分



世界の食料ムダ捨て事情

トリストラム・スチュアート著
中村友訳

請求番号/611.3/Stu

さらば、食料廃棄:捨てない挑戦

シュテファン・クロイツベルガー、パレンティン・トゥルン著
長谷川圭訳

請求番号/611.3/Kre



取材記事

テーマ 食を読む

今号のテーマは「食」を読むですが、学内には様々な「カフェ」があります。学生サポーターが、種類の違う2つの「カフェ」を取材しました。

「Café Break」

B館2階

B館2階の「Café Break」は、本学の足代ゼミが企画を行い、学生が中心となって企画、運営等をしているカフェです。店内は落ち着いた雰囲気が漂い、忙しいキャンパス内でリラックスしたひと時を過ごすことができます。そんなこのカフェのコンセプトは「おひとりさま」。店内は一席ずつ仕切られた席が用意されており、ひとりでゆっくりと食事をするのももちろんのこと、集中して本を読む場所としても適しています。雑誌や就活本なども置いてあるので、暇をつぶしたり、就活についてじっくり考えたりするのももぴったりです。



肝心のメニューのほうは、手作りにこだわったカレーや「おにぎらず」など。価格帯はほとんど500円以内、ボリュームもあり、学生にやさしいメニューが盛りだくさん!!パフェなどの軽食もそろっているので、ちょっとした休憩にもオススメです。

一人の時はもちろん、友達と一緒にのんびりとした時間を過ごしたい時は、ぜひご利用ください!!

取材担当:W.O

「E-café×OUE」

E館1階

E-café×OUEとは

キャンパス内で英語が話せる場を作りたい!ネイティブと話す機会を増やしたい!というやる気を持っている学生が集まって実行委員会がたち上がり、始めました。

英会話は
どこで行なわれている?

だれでもOK!

「TOEICや英検の勉強はしているが、実際に英語を使う機会がない、勇気がない」と思っていますか?英語を身につけるには、リアルな英会話が必要です。「英会話をする場がない、何を話していいかわからない」はE-café×OUEで解決!

Which country has the third largest population in the world?

E館1階で月・水・木の5限に開かれている学生同士の英語コミュニケーションの場、E-café×OUE。右は、クリスマスパーティーでゲームをしている様子です。



I think it's USA.

E-café×OUEを実行している竹平さん(E-café×OUE実行委員、経済学部2年生)にインタビューをさせていただきました。

Q.どうやって参加するのですか?

A.最初はぜひ手ぶらで来てください!スタッフが案内しますので、予約などは必要ありません。もし用事があったり最後までいられないか不安な場合は、途中参加・退出も可です。

Q.英語に自信がありません。

A.心配ご無用!はじめは軽いあいさつと自己紹介だけでいいんです。わからない時はわからないと言って教えてもらうのが一番の近道。苦手意識や恥ずかしさを克服したい人にこそ、来てもらえたらと思っています。

Last advice from Ms. Stacey
"Just speaking!"

取材担当:満田翔太郎



テーマ ショーゲキの一冊

第九回

ビブリオバトル

まさかの小説が1つだけという珍しい大会でした



経済学部4回生
農口 栄太

『奇界遺産』

はじめに、今回も出場して本当に良かったです。毎回、ビブリオバトルの前日に「出なきゃよかった」と思うのですが、終わった後はいつも「出てよかったなあ…」と思います。今もそういう心境です。ただ、毎回「準備不足」には後悔させられます(今回もそうです)。加納くんの発表を見るたびに、毎回「自分ももっとしっかり準備をすれば…」という心境になります。しっかり準備ができ、いつも「最高の発表」をする加納くんは本当に凄いです。若干の後悔はありますが、毎回本当に楽しかったです。また、いやらしい話ですが、ビブリオバトルの話題は就職活動でも大変役立ちました。まさに私にとって「一石二鳥」、「一石三鳥」のイベントだったと感じています。第5回大会(初めて出場した大会)に、勇気を出して出場して本当に良かったです。



経済学部2回生
荻原 渉

『人気デパ地下“スイーツ”パッケージ図鑑』

今回は少しミスしてしまっただ点もありましたが、成長の糧として大きな意味があったと思っています。参加できてよかったと思っています。



経済学部4回生
加納 秀人

『いま、会いにゆきます』

最後のビブリオバトルでしたので、負けてしまっとても悔しいです!



経済学部2回生
足立 実

『ディビス・クレプス・ウェスト 行動生態学』

チャンピオンになったのは僥倖のようなもので、チャンプとしての感想は特にありません。強いて言うならば、図書館にダメと言われ発表できなかった一冊のことを考えると少し複雑な気持ちになることぐらいです。パトラーとしては、尊敬している4回生の人たちに勝てたことが一番うれしかったです。また、自分が言ったことに対して思っていた以上に観客の方々が反応をしてくださった時は出場してよかったなと思いました。ただ、発表中の記憶があまりないのが残念です。



バトルの流れ

- 1 パトラー(発表者)が一冊の本を5分間で紹介
- 2 3分間の質疑応答
- 3 全員の発表が終わったら、観客の投票でどの本がいちばん「読みたかったか」を決定
- 4 チャンプ(優勝者)を決定

詳しく知りたい人は、KVCの画面右上からe-Learning → 参加可能なコース[図書館]のショートカットを選択 → ビブリオバトルで実際の動画を見よう!

ORTで多読にチャレンジ!!



ORTの魅力は何と言っても主人公のKipper、Biff、Chipのわんぱく3兄弟と愛犬Floppyが織りなすストーリーの多彩さです。最初は家族や友達との身近な話ですが、「Magic Key」(詳しくは本を読んでもお楽しみ!)を手に入れた後は、冒険先はエジプト、オーストラリア、中国と世界中に、時には宇宙にまで広がっていきます。また、トピックはバラエティーに富み、主人公たちはいじめや戦争に巻き込まれたりして成長していきます。でも、どんなにピンチになっても最後は「Magic Key」が助けてくれるので安心して読みすすめることができます。あなたもORTで多読にチャレンジしてみませんか。(参考:ORTホームページ)

経済学部教員 吉田弘子



図書館クイズ

新入生の皆さん、入学おめでとうございます!
在学生の皆さん、進級おめでとうございます!!
もう図書館は利用されましたか?
よく図書館を利用する学生さんも、
まだ一度も利用したことのない学生さんも、
是非!次のクイズに挑戦してみてください。

- Q1 図書館カウンター上の額縁に書かれている言葉は何でしょう?
- Q2 図書館1階～3階の閲覧室(グループ学習室を除く)に、パソコンは何台あるでしょう?
- Q3 図書館1階の新聞コーナーには、何種類の新聞があるでしょう?



全問正解者の先着20名に
図書館オリジナルキャラクター
「うーぼん」のマスキングテープ(非売品)を
差し上げます!!
答えがわかった人は、
図書館1FカウンターにLet's go!



観覧者(経済学部2回生)の感想

もともと本が好きなので、パトラーの皆さんのオススメ本が気になって観戦に行きました。ユーモアを交えつつ熱弁をふるう様子はさすがプロの本屋大賞のようで、見ている側も楽しかったです!普段なじみのないジャンルの本も紹介してくれるので、これから読書をしたい方にはいい機会になると思います。

パトラーさんへ向けた質問

Q. オススメ本を選ぶ際にずいぶん悩まれたと思うのですが、今回の本はどういった観点で選びましたか? その一冊に決める決定打となったものを教えてください。

- A. 農口 「ショーゲキの1冊」というテーマをもとに選びました。以前から友達に、「奇界遺産(今回の発表本)」という本がすごいから読んでみて」と言われていました。実際に手に取り読んだ瞬間、まさに「衝撃」が走りました。この感覚を皆さんに知っていただきたいと思い、「奇界遺産」を選びました。
- 荻原 図書館の学生選書コーナーにあったからです。たまたま手に取って読んでみたらとても面白く、図鑑を「面白い」と思ったのは初めてだったので紹介しようと思いました。
- 加納 この本を読んだ後に、他の本を十冊読んだのですが、ずっとこの本が自分の心の中に残っていたので。
- 足立 重い本を選びました。詳しくはKVCにUPされるビブリオバトルの動画をご覧ください。

写真撮影:情報社会学部4回生 S.N(図書館サポーター)
大好きな本を紹介するみなさんの姿を撮影でき、光栄です。ビブリオバトルの撮影は、とても楽しい時間でした。